

Commercial Course / Editorial Course

グラフィックをデザインする際の注意点は多々ありますが、デザイナーが最も頭を悩ませ試行錯誤を繰り返すのが「仕様」と『配色』の2つでしょう。「仕様」とは、印刷物の形状、サイズ、使用インキ、加工といった印刷物の外観に大きく関わる事柄です。ここではこの2つのポイントに重点を置いて、バンドのアニバーサリー記念のパンフレットを作成します。

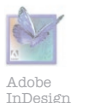
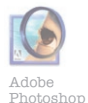
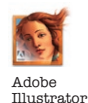
作者：柳沢 智 (131Graphic)



LESSON POINT

- ➔ 特殊な印刷物の台紙の作成方法
- ➔ 配色を考える上でのポイント
- ➔ Illustratorでのテキストの配置

APPLICATION



DIFFICULTY



DESIGNER'S EYE [プロフェッショナルのワークフロー]

☑ イメージを形にする

パンフレットやパッケージといった小型のグラフィックスでは、どのようなものを作るかを始めに決めておく必要があります。目的に合った形状や紙、加工についてを考えながら、まずはラフを作って組み立ててみます。

☑ OK

☑ NG

☑ 紙・形状などの仕様を決定

ラフを元に、その加工が可能かどうかを印刷会社に問い合わせ、見積もりを発注します。加工方法やその加工に適した紙などを検討する際は、印刷会社との密な相談が欠かせません。予算と仕様をクライアントに確認し、よければ次のステップに進みます。

☑ OK

☑ 写真やコピーの手配をする

使用する写真や、コピー（原稿）を用意します。撮影の必要があれば、カメラマンの手配が必要です。イラストが必要なイラストレーターに発注します。コピーはコピーライターが作成するのが一般的です。

☑ OK

☑ NG

☑ 台紙を作成する

素材の手配が終わったら、レイアウトするための台紙を作成します。折りや穴開けといった加工が必要な印刷物は、台紙も複雑な形状になります。台紙を作成したら、必ずプリントアウトして組み立て、形状を確認するようにしましょう。

☑ OK

☑ ラフに沿ってレイアウトをする

台紙に用意した素材をレイアウトします。最初にラフをきちんと作ってあれば、この作業はさほど大変ではありません。ただしラフ通りに行かない部分も出てきますので、仕上りのイメージを崩さないよう調整することも必要です。

☑ OK

☑ NG

☑ 校正が終わったら入稿

プリントアウトしたものを実際に組み立てて、最終的な確認を行います。原稿や仕様上の問題はないか、写真やテキストのデータは適正か、といったことをクライアントとともに確認し、よければ印刷所に入稿します。

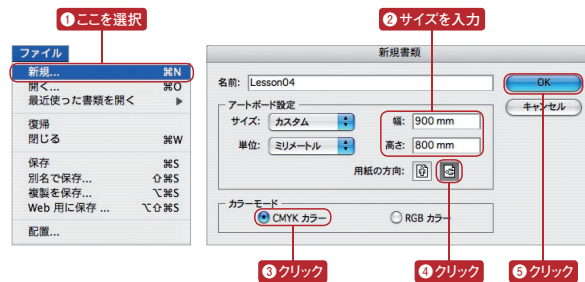
☑ OK

☑ NG

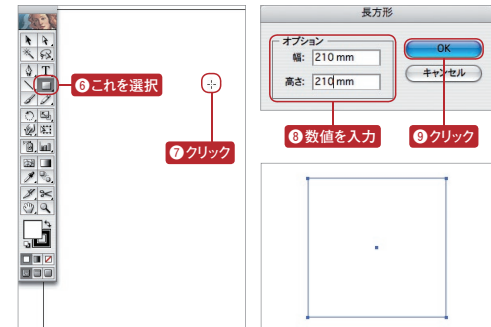
01 仕上がりサイズのガイドラインを作成する

ここで作成するのは、「観音開き」と呼ばれる方式の4つ折りのパンフレットです。表面／裏面、両面プロセスカラー4色の印刷を行い、部分的に「型抜き」と呼ばれる穴開けの加工をします。こういった印刷物の台紙を作る場合、パッケージや書籍のカバーなどと同じで、

台紙を立体的なものの「展開図」として考える必要があります。また、このような複雑な台紙を作成する場合は、Illustratorを使用するのが一般的です。まずはIllustratorで新しいファイルを作り、用紙のサイズに合わせてガイドラインを作成していきましょう。

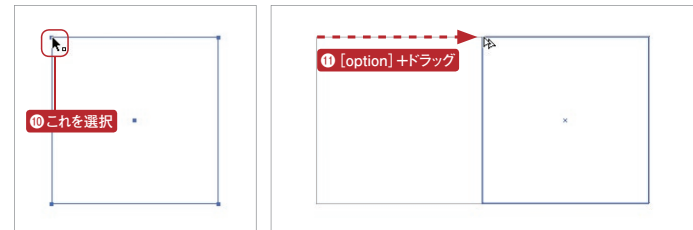


Illustratorを起動し、[ファイル]メニュー→[新規]を選択します。[新規]ダイアログボックスが表示されますので、[幅:900mm][高さ:800mm]と入力し、[用紙の方向:横]と[カラーモード:CMYKカラー]を選択して[OK]ボタンをクリックします。

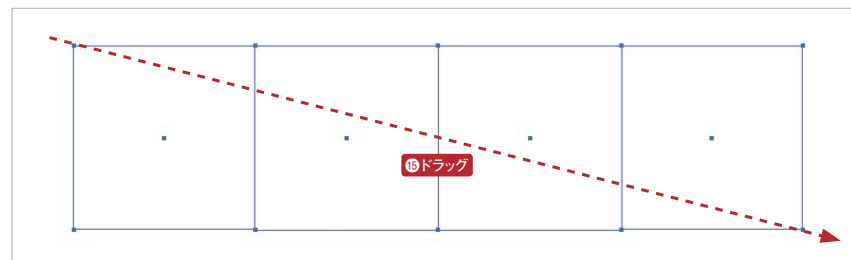


このパンフレットの仕上がりサイズは、210×210mmの正方形です。[長方形ツール]を選択し、画面上をクリックします。[長方形]ダイアログボックスが表示されますので、仕上りのサイズを入力して[OK]ボタンをクリックします。指定したサイズの長方形が描かれます。

[選択ツール]を選んで、描いた長方形の左上のポイントにマウスポインタを合わせます。マウスポインタの横に小さな四角形が表示されますので、[option]キーを押しながら横にドラッグします。最初に描いた四角形の右上のポイントの所まで移動すると、マウスポインタが白く反転します。そこでマウスボタンから手を離すと、位置を正確に合わせた移動コピーができます。バウンディングボックスが表示されうまく選択ができない場合は、[画面]メニュー→[バウンディングボックスを隠す]を選択してください。



先ほどと同様の手順で、今度は[幅:208mm][高さ:210mm]の長方形を描きます。できたら先に作った2つの正方形の左右に位置を合わせて配置します。



再び[選択ツール]を選び、画面上をドラッグして描いた長方形すべてを選択します。[画面]メニュー→[ガイド]→[ガイドを作成]を選ぶと、選択していた長方形がすべてガイドラインになります。

